

科目の目標

学校教育目標	知識・技能		思考・判断・表現		主体的に学習に取り組む態度		
	理解力	生活力	分析力	表現力	関心力	受容力	向上力
科目で育成する 資質・能力	人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。		
評価の観点 の趣旨	生活を主体的に営むために必要な人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などの基礎的なことについて理解しているとともに、それらに係る技能を身に付けている。		生涯を見通して、家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。		様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。		
評価の方法	ノート 単元テスト	実習レポート	ノート グループワーク	発表 単元テスト	実験レポート ノート	グループワーク 単元テスト	発表 ノート 単元テスト

年間計画

単元	学習内容	配当時数	特に重視する資質・能力	評価の観点と規準
B 衣食住の生活の自立と設計 (2) 衣生活と健康①	1 2 年次の学習内容とその目的及び学習の進め方を理解する。 2 人間と被服の関係を、被服の歴史から確認する。 3 わが国の被服材料の供給や被服産業の現状を理解する。	4	【向上力】 今後のライフステージを見通しながら、自分の衣生活をどのように創造していきたいかについて、主体的に考察することができる。	【知識・技能】 人が被服を着る理由について理解している。 【思考・判断・表現】 自分の衣生活について振り返り、課題を見つけようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 自分の衣生活について振り返り、課題をみつめようとしている。
B 衣食住の生活の自立と設計 (2) 衣生活と健康②	1 被服の機能について知り、T.P.O.とライフステージに応じて、自分も他人も快適な被服の着用ができるようにする。 2 被服材料の種類及び被服着用による健康障害や事故について知識を深め、トラブルの処理のしかたを理解する。	7	【表現力】 自分らしい着装の在り方について深く考察し、自分なりのコーディネートを表現しようとする態度を身に付けることができる。	【知識・技能】 被服の機能を理解し、健康・安全などについて配慮した被服の選択を適切にすることができる。 【思考・判断・表現】 被服の機能や快適性について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 被服の快適さを保障する条件について、具体的に考えようとしている。
B 衣食住の生活の自立と設計 (2) 衣生活と健康③	1 洗濯の目的と方法、洗剤の種類と働きを理解する。 2 被服の収納の方法を工夫し、実践する態度を養う。 3 衣生活における資源や環境問題を考え、配慮する姿勢をもつ。	7	【理解力】 繊維製品の取り扱い絵表示を読み解き、適切な洗濯方法を選ぶことができると同時に、被服材料に応じた被服整理や適切な衣生活の管理について理解することができる。	【知識・技能】 被服材料、被服構成及び被服衛生について理解しているとともに、被服の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 被服管理について具体的に考え、取り組もうとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 洗濯の種類や汚れの種類、洗剤の成分について関心をもち、合理的な洗濯の方法について考えようとしている。
C 持続可能な消費生活・環境 (3) 持続可能なライフスタイルと環境	1 日々おこなっている生活の行為が環境へ負荷を及ぼしていることを理解する。 2 SDGsについて理解し、一人ひとりの行動変容こそが大きな解決の力となることを理解する。	3	【生活力】 消費生活と資源や環境とのかかわりについて関心を持ち、環境に調和したライフスタイルの在り方について考えをまとめることができる。	【知識・技能】 生活と環境との関わりや持続可能な消費について理解しているとともに、持続可能な社会へ参画することの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 環境に調和したライフスタイルのありかたについて思考を深め、考えをまとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 環境負荷の少ない生活の実践について考えようとしている。

B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康①	1 現代の食生活の問題点について、自分の食生活を分析し、問題点を把握する。 2 食事と食品と栄養素について理解する。 3 食事摂取基準、食品群の種類を理解し、その目的と生活のなかでの利用方法を理解する。 4 五大栄養素について、その働きと含む食品を理解する。	18	【向上力】 家族や自分の食生活と関連させて栄養に関して具体的に理解し、改善しようとしている。	【知識・技能】 食事の役割について理解するとともに、自分の食生活の問題点を理解している。 【思考・判断・表現】 自分の食生活や家族の食生活を分析し、改善方法について考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活と健康について、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康②	1 近年多発する食品に関する事件を取り上げて、なぜそのような事態が生じたのかを知るとともに、消費者として身につけるべき知識と判断力について考える。 2 食中毒の発生原因を知り、防ぐ方法を理解し、実行できるようにする。	4	【生活力】 近年の食品の安全性について思考を深め、食の安全を守る仕組みについて理解することができる。	【知識・技能】 食品の安全性にかかわる問題点などを通して、食生活と健康との関連を理解している。 【思考・判断・表現】 食の安全や食品の調理上の性質、食文化の継承を考慮した献立作成や調理計画、健康や環境に配慮した食生活について問題を見いだして課題を設定し、課題を解決する力を身に付けている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康や安全に配慮した食生活について考えようとしている。
B 衣食住の生活の自立と設計 (1) 食生活と健康③	1 食品を調理する目的を理解し、調理により食品がどのように変化するか、また同じ食品でも調理操作により味やテクスチャーが異なるものになることを理解する。 2 調理を科学的に理解する態度を養う。	12	【表現力】 食生活の多様化や食環境の変化に興味をもち、調理実習・実験に取り組む中で身に付けた技術を表現することができる。	【知識・技能】 食品の調理上の性質をいかした調理法について理解している。 【思考・判断・表現】 調理の技術を積極的に身に付けようとしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 食生活の多様化や食環境の変化に興味をもち、調理実習や実験に取り組んでいる。
C 持続可能な消費生活・環境 (1) 生活における経済の計画	1 経済的自立について理解する。 2 家計管理と資金管理について知る。 3 消費にかかわる契約について理解する。 4 契約を交わす際の注意点、契約を交わしたときに発生する法的責任、契約に関するトラブルについて知る。	5	【生活力】 生涯に起こりそうなリスクを想定しながら、経済計画を立てて、経済計画の重要性について考えを深めることができる。	【知識・技能】 家計の構造や生活における経済と社会との関わり、家計管理について理解している。 【思考・判断・表現】 多様化する消費者問題にどのように対処すべきか考えを深め、まとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 経済計画や消費者問題の課題に関心をもとうとしている。
B 衣食住の生活の自立と設計 (3) 住生活と住環境	1 住まいの役割や重要性を理解する。 2 住まいや住生活の変化とその要因を知ることを通して、現代の住まいや住生活について考える。 3 住まいや住生活の現状を知り、改善のための課題について考える。	5	【理解力】 想定した家族や住まいをもとに、住まいの機能や住空間と家族の暮らしかたなどについて分析しながら理解することができる。	【知識・技能】 ライフステージに応じた住生活の特徴、防災などの安全や環境に配慮した住居の機能について理解しているとともに、適切な住居の計画・管理に必要な技能を身に付けている。 【思考・判断・表現】 想定した家族や住まいをもとに、住まいの機能や住空間と家族の暮らし方などについて、考えをまとめたり、発表したりしている。 【主体的に学習に取り組む態度】 健康で快適に生活するための住まいについて考えようとしている。
D ホームプロジェクトと学校家庭クラブ活動	1 これまでの学習をいかし、問題意識をもって生活の中から課題を発見し、その解決方法を知る。 2 具体的な活動計画を立てて実践し、その成果をわかりやすく報告する。学習のまとめ	5	【向上力】 「総合的な探究の時間」の授業と関わらせながら、生活や地域の中から課題を見出し、課題解決にむけて思考を深め、主体的に実践することができる。	【知識・技能】 目標を明確にし、計画を立てて実践できる。 【思考・判断・表現】 生活の中から課題を見だし、課題解決に向けて思考を深め、適切に判断している。 【主体的に学習に取り組む態度】 家庭科の学習の発展として「ホームプロジェクト」と「スクールプロジェクト」について関心をもち、意欲をもって学習活動に取り組むことができる。

備考

- 【留意事項】
- ・毎時間の授業において、学習内容を自分自身にいかにか生かすことができるかを前向きに考え、ノートの感想欄に記述できるよう努力してください。
 - ・家庭生活と社会とのかわりを理解するために、授業内で紹介した書籍や新聞等には積極的に目を通してください。